



## D コマンド

---

この章では、D で始まる Cisco NX-OS Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) コマンドについて説明します。

# default-information originate (EIGRP)

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) にデフォルト ルートを生成するには、**default-information originate** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**default-information originate** [**always**] [**route-map** *map-name*]

**no default-information originate**

## 構文の説明

<b>always</b>	(任意) ルートが EIGRP ルーティング情報ベースにない場合、デフォルト ルートを生成します。
<b>route-map</b> <i>map-name</i>	(任意) ルートがルート マップによって許可されている場合にのみデフォルト ルートを生成します。マップ名は、英数字で最大 63 文字のストリングです。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

アドレスファミリ コンフィギュレーション モード  
 ルータ コンフィギュレーション モード  
 ルータ VRF コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、条件ルート マップに合格したすべてのルートに対して、デフォルト ルート (0.0.0.0/0) を生成する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 201
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# default-information originate route-map Condition
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>address-family</b>	アドレスファミリ コンフィギュレーション モードに入ります。
<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
<b>default-metric</b>	EIGRP に再配布されたルートにメトリックを設定します。
<b>redistribute</b>	ルートを他のルーティング プロトコルから EIGRP に再配布します。
<b>show ip eigrp</b>	EIGRP 情報を表示します。



## default-metric (EIGRP)

EIGRP のメトリックを設定するには、**default-metric** コマンドを使用します。メトリック値を削除し、デフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**default-metric** *bandwidth delay reliability loading mtu*

**no default-metric**

### 構文の説明

<i>bandwidth</i>	ルートの最小帯域幅 (キロビット/秒)。範囲は 1 ~ 16777215 です。デフォルト値は 100000 です。
<i>delay</i>	ルートの遅延 (数十マイクロ秒)。範囲は 1 ~ 16777215 です。デフォルト値は 100 (マイクロ秒の 10 倍) です。
<i>reliability</i>	パケット送信が成功する可能性 (0 ~ 255 の数字で表す)。255 という値は 100% の信頼性を意味し、0 はまったく信頼性がないことを意味します。デフォルト値は 255 です。
<i>loading</i>	ルートの有効な帯域幅 (1 ~ 255 の数字で表す、255 は 100% のローディング)。デフォルト値は 1 です。
<i>mtu</i>	ルートの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) のサイズ (バイト)。指定できる範囲は 128 ~ 4352 です。

### コマンド デフォルト

bandwidth: 100000

delay: 100 (マイクロ秒の 10 倍)

reliability: 255

loading: 1

### コマンド モード

アドレスファミリ コンフィギュレーション モード

ルータ コンフィギュレーション モード

ルータ VRF コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

**default-metric** コマンドを **redistribute** コマンドと同時に使用し、すべての再配布されたルートに同じメトリック値を使用します。デフォルトメトリックは、互換性のないメトリックを持つルートを再配布するという問題を解決するために役立ちます。外部メトリックが EIGRP メトリックに変換されない場合、デフォルトメトリックを使用することにより、常に妥当な代替メトリックを外部メトリックに提供し、再配布を続行することができます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、再配布された Routing Information Protocol (RIP) メトリックを取得して、それらを bandwidth = 1000、delay = 100、reliability = 250、loading = 100、および MTU = 1500 の値を持つ EIGRP メトリックに変換する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# redistribute rip 100 route-map FilterRIP
switch(config-router-af)# default-metric 1000 100 250 100 1500
switch(config-router-af)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
<b>redistribute</b>	ルートを 1 つのルーティング ドメインから他のルーティング ドメインに再配布します。
<b>show ip eigrp route-map statistics redistribute</b>	EIGRP ルート マップ統計に関する情報を表示します。

# distance (EIGRP)

ノードまでのより適切なルートを提供できる Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) 用に 2 個のアドミニストレーティブ ディスタンス (内部および外部) の使用を許可するには、**distance** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**distance** *internal-distance external-distance*

**no distance**

## 構文の説明

<i>internal-distance</i>	EIGRP 内部ルートのアドミニストレーティブ ディスタンス。内部ルートは、同じ自律システム (AS) 内の他のエンティティから学習されるルートです。ディスタンスは、1 ~ 255 の値です。デフォルトは 90 です。
<i>external-distance</i>	EIGRP 外部ルートのアドミニストレーティブ ディスタンス。外部ルートは、ベストパスがこの AS の外部にある発信元から学習されるルートです。ディスタンスは、1 ~ 255 の値です。デフォルト値は 170 です。

## コマンド デフォルト

internal-distance: 90  
external-distance: 170

## コマンド モード

アドレスファミリ コンフィギュレーション モード  
ルータ コンフィギュレーション モード  
ルータ VRF コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

アドミニストレーティブ ディスタンスは、個々のルータやルータのグループなど、ルーティング情報発信元の信頼性を表す数値です。数值的に、アドミニストレーティブ ディスタンスは 0 ~ 255 の整数です。一般的に、値が高いほど信頼性のランク付けは低くなります。255 のアドミニストレーティブ ディスタンスは、ルーティング情報源がまったく信頼できないため、無視すべきであることを意味します。

他のプロトコルが外部 EIGRP を通じて実際に学習されたルートよりも良いルートをノードに提供できることがわかっている場合、または一部の内部ルートが EIGRP によって優先されるべきである場合、**distance** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、すべての EIGRP 1 内部ルートのアドミニストレーティブ ディスタンスを 80 に、すべての EIGRP 外部ルートのアドミニストレーティブ ディスタンスを 130 に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# distance 80 130
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ip eigrp</code>	EIGRP 情報を表示します。

■ distance (EIGRP)